

# 平成 31 年度事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

## 1 事業の成果

平成 31 年度に力を入れて取り組みたい事業は次の通りでした。

- ① 「バードライフアドバイザー認定講座(以後、BLA)」の推進と1級の企画
- ② 里親会に力を注ぐ
- ③ 愛鳥祭の更なる飛躍
- ④ その他

### 【成果】

- ① バードライフアドバイザー認定講座は、すでに2名の理事(松本、涌井)が講師を務めています。さらに2019年より理事の望月が講師として加わりました。  
3級は代表の松本が担当し、2級は松本・涌井・望月が担当しています。  
これにより、更に複数のテーマをBLAの場でお伝え出来るようになりました。  
BLA1級については、現在検討を進めています。

また講演のために全国を回れる職員が増えたことにより、BLA以外にもセミナー回数自体を増やすことが出来ました。

- ② 今年は、これまでで一番里親決定数の多い年となりました。  
(大規模なレスキュー及び、大規模な特例里親会を除く)  
トレーニングの積極的な導入や、治療中の鳥については健康上の説明を細やかに行うことで、里親になりたい方から理解していただけたことが大きいと考えています。実際、古くからいる鳥達や高齢の鳥にも里親さんが決まりました。  
昨年に引き続き、遠方型里親会(V-MTB)も開催し関東圏外の里親さんも決まっています。
- ③ 今年で4回目の開催となる愛鳥祭は、昨年を上回る来場者数となりました。  
(2016年 約800名・2017年 約1,100名・2018年 約1,500名・2019年 約2,700名)  
昨年まではフロアの半分を使用していましたが、今年は全面を使用する事で新たな企画(チャリティくじ引き等)を行う事も出来ました。愛鳥祭では開場直前の混雑緩和を課題としており、今回から開場前の待ち時間もご着席の上お待ちいただける仕組みを作りました。その上で更なる改善点が見つかったので、来年の課題としたいと思います。  
今回は有料の講演会(シンポジウム)も同じ会場内で聞くことが出来るようにしたため、お客様のご負担少なく、会場全体を見ていただけました。
- ④ ・新たな人員を採用  
・鳥の死亡数がこの20年で最も少ない  
・鳥の里親決定数が最も多い  
・バードランの検査項目を3項目に変更(2019年4月より)  
TSUBASAでは飼育業務と事務業務を兼任しているスタッフが多いのですが、本年は新規で人員を採用したことにより、多方面において活動を手厚くすることが出来ました。  
これに伴い里親決定数(②にて既出)は過去最高となり、施設内の鳥の死亡数(2019年2羽)がこれまでで最も少なくなりました。

また、とり村内併設の個人の皆様が自分の鳥を連れてきて遊ばせるためのバードランは感染症の検査項目をクラミジアのみから、PBFDとBFDを加え3項目としました。

## 2 事業の実施に関する事項（平成31年1月1日～平成31年12月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額 (千円)
(1) 鳥類適正飼養に関する教育啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鳥塾</li> <li>・愛鳥祭</li> <li>・同鳥会</li> <li>・セミナー・フォーラム・シンポジウム</li> <li>・バードライフアドバイザー認定講座3級、2級</li> <li>・リーフレット設置、季刊誌の作成等</li> <li>・バードラン</li> </ul>	通年	埼玉県新座市及び全国	8名	全国の愛鳥家・動物保護に関心を持つ方	5230名	10,351
(2) 鳥類の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親会(MTB)開催</li> <li>・レスキュー引き取り事業等</li> <li>・鳥の飼育業務</li> </ul>	1月から12月まで定期開催	埼玉県新座市	9名	全国の愛鳥家	240名	18,281
(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業	飼鳥のペレット読本 鳥種別リーフレット	通年	埼玉県新座市	7名	獣医師他	7600名	583
(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査・研究・開発事業	健康管理に係る食餌、気温の調査	毎日	埼玉県新座市	8名	全国の愛鳥家	—	—
(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れ</li> <li>・特別授業</li> </ul>	随時	埼玉県新座市	8名	学生一般	120名	—
(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業	・ガブリエル財団訪問(インコウム保護団体)	1回	アメリカ フロリダ	3名	—	—	— (従事者個人支出)

(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務	鳥の餌 おもちゃなどの販売	随時	埼玉県 新座市	7名	施設 来訪者	840 名	1,708
(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営	H31年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—
(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業	・カレンダー ・コーズリボン ・雑貨など	随時	埼玉県 新座市	7名	施設・ イベント 来訪者	870 名	757

(2) その他の事業 なし

### 3 各事業の活動内容等

(1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

1: 愛鳥祭

日時: 2019年6月1日、2日

場所: 東京都浅草

ボランティア参加 59名

ご来場者数 約2700名

内容:

・セミナー無料(土日両日開催)

「バーチャルMTB～全国どこでも家族との出会い～」

「ドイツで鳥と暮らす」

「ふれあい愛鳥塾」

「キケンが多い鳥の日常生活」

「トレーニングはかわいそう?～知的なかれらとフェアに向き合う～」

「健康診断に行こう!検査は何をやるの?」

・セミナー有料(土日両日開催)

「愛鳥と心の距離を近づける心理学入門」

「愛する鳥と最期まで～ドイツの介護問題への取り組み～」

「病院に連れて行くサインとその後」

「その問題、どう解決?～あの人がそういつてる、科学はこういつてる～」

「お迎えしたヒナに注意すべきこと」

・クリエイター雑貨即売会

14組の企業、73組のクリエイターの雑貨の展示即売会

・ふれあい愛鳥塾

鳥との関わり方、接し方を実際の鳥達に協力してもらいながら学べる体験コーナー。今回は、鳥との接し方のレクチャーを映像で流すことで整理券を持たない方にも広く伝えることができました。

・施設のお掃除ボランティアの方々によるTSUBASAの鳥の為のおもちゃ作りコーナー前年にも設置し、大変ご好評いただきました。本年も、

## 2：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

東京：4/28、7/14、11/12 大阪：1/13、5/6

愛知：1/14、10/20、11/16 福島：4/21 福岡：10/27

長崎：6/8 広島：7/6 北海道：6/30、10/14

栃木：9/29 静岡：7/20 青森：9/16 仙台：11/9

合計 18回 受講者 693名

担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）

内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、

愛鳥家に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。

## 3：バードライフアドバイザー2級認定講座

開催地、開催日（講座受講は1度の受講で2日連続講義）

大阪：6/15・6/16 東京：8/11・8/12 福岡：11/3・11/4 仙台：11/23・11/24

合計 4回開催（8日間）

受講者 136名

担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、（理事）

講師 眞田先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、石綿様（ALETTA代表）、

木村様（ナチュラリスト/東京都鳥獣保護管理員）、

小柳様（小鳥の病院BIRDHOUSE看護師）

内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に

2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動と3級より掘り下げた内容を専門講師と共にお伝えしました。

## 4：BLA2級スキルアップ対象セミナー

開催地：東京、大阪、仙台、札幌、名古屋、福岡、埼玉、京都、愛知、三重

合計 15回開催

担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）・涌井（NPO法人TSUBASA理事）

望月（NPO法人TSUBASA理事）・加藤（NPO法人TSUBASA職員）

内容 BLAの2級を取得済みの方が対象になるセミナー。日々更新される鳥達の

飼い方の最新情報を常に取り入れる事を目的としています。

2級は更新制で、BLAポイント対象のセミナー等のイベントに

3年間で20ポイント分、参加する必要があります。スキルアップセミナーは、

ポイントが取得できる対象となります。

イベント名（一部抜粋）

「愛鳥塾 鳥との深い関係、寄りよい関係を目指して」

「愛鳥塾 考えておきたい やがて来ると万が一」

「第15回、第16回TSUBASAセミナー」他

## 5：その他勉強会等イベントの開催

上記以外でも、以下のイベントに主催あるいは参加しました。（時系列）

「愛鳥塾 鳥の保温を基礎から学ぼう」主催

「鳥類臨床研究会」 出展  
「同鳥会 ヨウム員集会」 主催  
「同鳥会 ラブバ祭り」 主催  
「同鳥会 ホワイトフェスティバル」 主催  
「動物慰霊祭」 主催  
「夏休み ミニ愛鳥塾」 主催  
「ジャパンバードフェスティバル(JBF)」 出展  
「ヤマザキ学園絆祭」 出展  
「初めてのバードラんどきどきデビュー会」 主催  
「集まれ！クリスマスカラーの鳥さん会」 主催

## (2) 事業名 鳥の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

1：TSUBASAで暮らす鳥の里親探し

・里親が決まった数：計 44 羽

内訳：メキシコアカボウシ（1羽）/セキセイインコ（16羽）/文鳥（2羽）/  
オカメインコ（5羽）/ワカケホンセイインコ（2羽）/コバタン（1羽）/ヨウム（6羽）  
オオハナインコ（1羽）/キエリボウシインコ（3羽）/オオバタン（1羽）  
アオボウシインコ（1羽）/コザクラインコ（1羽）/パナマボウシインコ（1羽）  
タイハクオウム（1羽）/フィリピンオウム（1羽）/ボタンインコ（1羽）

・鳥の里親会（MTB:Meet the bird）開催

普段、施設で暮らす鳥達の里親会。毎月開催を目標としています。

里親会参加者数：約 220 名（初申し込み者総数+複数参加者各会 2 名計算）

開催日：1/19、3/24、4/24、4/27、6/29、7/28、8/17、9/22、10/20、11/17

・小型鳥の里親会（S-MTB）

通常のものとは異なる、中小型の鳥を専門とした里親会の開催。

開催日：5/19、9/14

・関東圏外里親会（バーチャルMTB）

最低 3 回は施設に足を運ぶ必要がある里親会の負担を減らし、全国どこの方でも  
里親制度に興味を持ってもらえる事を目指して開催。

ホームページに載せての大々的な周知も検討はしたものの、

現在多数の開催は難しいため、開催都市が限定的であることからイベントとしての  
告知のみとなっています。

開催日：1/13（愛知）

2：外部からの鳥の引き取り：18 件、46 羽の鳥を引き取りました。

2019 年のレスキュー案件はありませんでした。

（レスキュー：飼い主不在/事前健康診断ができない/書類が出せない/緊急性が高い）

5 件 9 羽は、高齢者の飼育困難、死亡により。

3 件 22 羽は、インコ由来の呼吸器疾患、喘息、アレルギーにより（年令問わず）

7 件 12 羽は、家庭都合（引っ越し、飼育放棄）により。

3 件 3 羽は、高齢ではない飼い主の病気により。

鳥の問題行動による引取は本年該当なし。

3：鳥のお世話に関するボランティア

日時：毎日 9:00～17:00（時間はボランティア様選択制）

延べ人数：計 978 人

(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1：鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、鳥の種類別のリーフレットを作成販売しました。

2：飼鳥のペレット読本

小鳥の病院BIRDHOUSE院長眞田直子先生に執筆していただき、書籍の製作販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、獣医師の集まるイベントなどでの販売も行いました。2019 年は新たに改訂版を発行しました。

(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェックしました。それに加え、発情抑制やトレーニングの成果など含めて鳥達の飼養をする中で得られた学びを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにてフィードバックをしました。

(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

日本で唯一の認定NPO法人として活動する飼い鳥の保護施設である当団体には、学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供している。

【平成31年度研修の受け入れ並びに、講義を行った学校】

名古屋コミュニケーションアート専門学校・国際動物専門学校

日本ペット&アニマル専門学校・大宮国際動物専門学校・広島アニマルケア専門学校

(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業

アメリカ最大級のインコやオウム類の保護団体ガブリエル財団に、TSUBASA代表並びに職員2名が表敬訪問をしました。保護施設のみに留まらず、アメリカのインコ類の販売店も複数店舗確認をしました。

(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務

鳥のための用品（ケージ、餌、おもちゃ等）が該当します。  
鳥たちと愛鳥家の皆様のためにお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を実施しました。また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ販売も実施いたしました。

(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営

→平成31年度は実績なし

(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業

鳥を飼う方向けの用品（飼育書等）が該当します。  
TSUBASAを広く普及するための雑貨（コーズリボン）、カレンダー、

#### 4 各種メディアでの活動内容の報道実績について

- (1) コンパニオンバードNo. 31
- (2) 感動の動物物語 虹の橋 (西東社)
- (3) 読売新聞 Single Style

#### 5 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	309 人
賛助会員	:	196 人
法人会員	:	0 団体
名誉会員	:	19 人
寄附者	:	延べ 1,192 人
鳥のスポンサー	:	延べ 288 人
鳥のお世話に関するボランティア	:	延べ人数 : 計 978 人
プロボラなど	:	7 名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウイッシュリスト含む）、古本の提供（きしゃぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥達のおもちゃ作り、支援を目的としたイベントの開催、動物愛護イベント等での啓発発動、SNS等によるPRなど、様々な形でご支援を頂きました。

昨年と比較して、本年寄付が増えた要因として考えられるのは、1月にJAMMINとコラボレーションで行ったチャリティTシャツの販売イベントで、新たにTSUBASAを知って下さる方が増えた事が挙げられます。またBLAに参加して、初めてTSUBASAを知るという方が応援して下さるのも大きな要因となっています。